

【注意】「転移性腫瘍と診断された腫瘍」と「病理組織学的検査にて再発と診断された腫瘍」は、下記の多重がんルールを適用しない。
 詳細は、「固形腫瘍における多重がんルール適用対象判定資料」を参照のこと (<https://ctr-info.ncc.go.jp/text/>)。

<乳房>

C500-C506, C508-C509 (悪性リンパ腫・白血病 M9590-M9992 と カポジ肉腫 M9140 は対象外)

腫瘍数	ルール	項目内容	決定	備考		
不明	M1	単一腫瘍か複数腫瘍かが不明	⇒ はい	単発 注1: すべての情報を使用しても不明な場合に適用 注2: 情報が乏しい症例の例: ・死亡診断書情報のみの症例 ・情報が病理診断報告書のみの症例。例えば、生検や切除の病理報告書はあるが、それが単一腫瘍のものか複数腫瘍のものが特定できない例や、外来で生検を行いその後の情報が無い例。		
	↓いいえ					
単一	M2	炎症性乳癌の診断で、以下のいずれかである ・両側乳房 ・同側乳房で、複数の領域※に存在 ※訳注: ICD-O局在コード上の2つ以上の領域	⇒ はい	単発		
	↓いいえ					
	M3	単一腫瘍である	⇒ はい	単発 注1: 単一腫瘍は常に単発として扱う 注2: 腫瘍が隣接部位に進展したり、複数の領域※にまたがって存在する場合を含む 注3: 腫瘍が上皮内癌と浸潤癌成分を有する場合を含む 注4: 腫瘍が複数の組織型を有する場合を含む ※訳注: ICD-O局在コード上の2つ以上の領域		
↓いいえ						
	M4	炎症性乳癌の診断で、以下のいずれかである ・両側乳房 ・同一乳房で複数の領域※に存在 ※訳注: ICD-O-3局在コード上の2つ以上の領域	⇒ はい	単発		
	↓いいえ					
	M5	1つ目の腫瘍 (C50_) と、ICD-O局在コードの2桁目 (CXxx) または3桁目 (CxXx) が異なる別の非連続な2つ以上の腫瘍である			⇒ はい	多重 注1: 局在コードの2、3桁目が異なる腫瘍は、異なる原発部位に相当する (例えば乳癌C50_と結腸C18_の2、3桁目は異なる) 注2: 本ルールに転移は含まれない。
	↓いいえ					
	M6	両側の乳房に癌がある			⇒ はい	多重 注1: 医師の記録の"両側乳癌 (bilateral breast cancer)" は種々の意味で使われている場合があるため注意が必要。 注2: 各乳房内にいくつの腫瘍があるかは無関係 注3: 腫瘍の組織型は同じでも異なっていても良い
	↓いいえ					
	M7	乳頭Paget病と、その同側乳房の深部に上皮内癌あるいは浸潤癌NST (乳管癌) が同時に存在する			⇒ はい	単発 << 訳注 >> この場合、局在コードを深部の上皮内癌あるいは浸潤癌の存在する局在コードとし、形態コードを8541/3 (乳頭Paget病と浸潤癌NST (乳管癌) の組合せのとき)、あるいは8543/3 (乳頭Paget病と上皮内癌の組合せのとき) とする
	↓いいえ					
M8	1つ目の腫瘍あるいは最後の再発腫瘍の診断から満5年を超える間、臨床的に再発を認めず (clinically disease-free)、その後、新たな乳房腫瘍が発生した	⇒ はい	多重 注1: 本ルールは階層的であり、M1~M7が該当しない場合にM8を適用する。 注2: "臨床的に再発を認めない"(clinically disease-free)とは、以下を含む検査にて、経過観察中に再発所見を認めない状態を指す。 ・マンモグラフィー ・CT・MRI等の画像検査 ・腫瘍マーカー 注3: 診断から5年以内に再発した場合、次の腫瘍の診断までの間隔はリセットされ、再発腫瘍が診断された時点からの計算となる。 注4: 診療記録上再発に関する記載がない、もしくは不明な場合、腫瘍の診断日が当該間隔を計算する基準日となる。 注5: 医師は、対象患者が過去に乳癌に罹患したという意味で、後の腫瘍に対して「再発」と記載することがあるが、医師の記載をそのまま採用せず、本ルールに従うこと。			
↓いいえ						

複数	M9	同時に存在する複数の腫瘍の組織型が、以下のように癌腫NST（乳管癌）と小葉癌からなる； ・すべての腫瘍の組織型が、両者の混在型 または ・一方が乳管癌で、他方が小葉癌	⇒ はい	単発	注1: 腫瘍はすべて同側乳房に存在すること 注2: 組織型はすべて同じ性状コードであること 注3: 癌腫NST（乳管癌）（Carcinoma NST/duct）は、以下を含む ・ DCIS ・ Carcinoma NST 8500/3 ・ Carcinoma with osteoclastic-like stromal giant cells（癌腫NSTの亜型/変異型） 注4: 小葉癌（Lobular carcinoma）は、以下を含む ・ In situ lobular carcinoma ・ In situ pleomorphic lobular carcinoma ・ Invasive lobular carcinoma ≪訳注≫ NST：No Special Type
	↓いいえ				
	M10	同時性・異時性発生を問わず、互いに非連続である複数の腫瘍の組織型が、「同義語と定義の表」中の右列において、互いに異なる亜型/変異型である	⇒ はい	多重	注: 腫瘍の組織型が、互いに同じNOSの組織型の亜型/変異型でも、異なるNOSの組織型の亜型/変異型でも本ルールを適用できる <同じNOSの例> Encapsulated papillary carcinoma with invasion と Solid papillary carcinoma with invasion は、どちらも Invasive papillary carcinoma 8503/3の亜型だが、両者の組織型は異なるため、多重と登録する <異なるNOSの例> Encapsulated papillary carcinoma は Papillary carcinoma in situ 8503/2の亜型/変異型である。Pleomorphic lobular carcinoma in situ は Lobular carcinoma in situ 8520/2の亜型/変異型である。これらの組織型は異なるため、多重と登録する
	↓いいえ				
	M11	同時性・異時性発生を問わず、互いに非連続である複数の腫瘍の組織型が、「同義語と定義の表」において、同じ太枠に属している	⇒ はい	単発	注1: 複数腫瘍の性状コードは同じである必要がある。一つの腫瘍が上皮内癌で、他の腫瘍が浸潤癌であった場合、本ルールを適応せずにM12以降に進む 注2: 「同じ太枠」とは、以下のいずれかを指す ・すべての腫瘍が同じ組織型（4桁の同じICD形態コード） ・1つの腫瘍の組織型が表中左列に該当し、他の腫瘍の組織型がその同義語（中列）に該当 ・1つの腫瘍の組織型がいずれかのNOS（左列あるいは中列）に該当し、他の腫瘍がそのNOSの亜型/変異型（同じ太枠内の右列）に該当
	↓いいえ				
	M12	同時性・異時性発生を問わず、互いに非連続である複数の腫瘍の組織型が、「同義語と定義の表」において、異なる太枠に属している	⇒ はい	多重	注: 腫瘍の組織型が互いに異なる太枠に属する場合、それらは明確に異なる組織型である
	↓いいえ				
	M13	浸潤癌の診断後、同側乳房に上皮内癌を診断した（この場合、浸潤癌として登録する）	⇒ はい	単発	注1: 一度浸潤癌に罹患した後に上皮内癌が発生した場合、がん登録において、その上皮内癌は再発腫瘍とみなす 注2: 本ルールはM1～M12が該当しない場合に適用する 注3: 腫瘍の組織型は、いずれかのNOSとそのNOSの亜型/変異型の場合もあるが、そのような組み合わせであっても本ルールを適用し、単発として扱う
	↓いいえ				
	M14	上皮内癌の診断から60日以内に同側乳房の浸潤癌が診断された	⇒ はい	単発	注1: このルールは、M1～M13が該当しない場合に適用する 注2: このルールでは、上皮内癌と浸潤癌が同時に診断された場合を含む 注3: 腫瘍の組織型は、いずれかのNOSとそのNOSの亜型/変異型の場合もあるが、そのような組み合わせであってもM14を適用し、単発として扱う 注4: これらは、同じ腫瘍の多発病変と考え、以下のように登録する ・診断日は最も早い診断日である上皮内癌の診断日を登録する ・局在、組織型、病期、進展度は、より進展している浸潤癌の情報を優先して登録する（病期分類は上皮内癌の診断日時点で採用していた分類を用いる） ・初回治療情報は、各病変に対して行われた治療をすべて登録する 注5: 医師は、両腫瘍に対して、最適な治療法の選択や疫学研究上の理由から、病期分類や多重癌との判定を行うかもしれない。（訳注: その場合でも本ルールに該当した場合は単発として扱う）
	↓いいえ				
	M15	上皮内癌診断後、60日を超えた間隔で同側乳房の浸潤癌が診断された	⇒ はい	多重	注1: 本ルールは、M1～M14が該当しない場合に適用する 注2: 浸潤癌、上皮内癌、ともに登録対象となる 注3: 後に発生した浸潤癌に対し、医師が再発あるいは増悪と記載した場合でも、「多重」として登録する 注4: 本ルールは、腫瘍再発に関する疫学研究結果に基づき設定され、医学的専門家によって承認されたものである。
	↓いいえ				
	M16	上記のいずれも当てはまらない	⇒ はい	単発	注: 上位のルールがすべて適用できない場合のみ、適用する

同義語と定義 乳房 対象局在コード：C500-506, C508, C509

《左列》 特異的またはNOSの組織型		《中列》 左列の同義語	《右列》 左列または中列の亜型/変異型
コード	用語	用語	用語
8550	Acinic cell carcinoma	Acinar adenocarcinoma Acinar carcinoma	
8200	Adenoid cystic carcinoma (ACC)	ACC Adenocystic basal cell carcinoma Carcinoma adenoides cysticum Cylindromatous carcinoma	
8983*	Adenomyoepithelioma with carcinoma	AME Malignant AME	
8401	Apocrine carcinoma ※Apocrine carcinoma 8401は、"Apocrine carcinoma"のみに適用し、carcinoma NST with apocrine featuresやwith apocrine differentiation, with apocrine typeなどを含めないこと。		
8500	Carcinoma NST	Carcinoma of no special type (ductal/NST) Carcinoma/carcinoma NST with choriocarcinomatous features Carcinoma/carcinoma NST with cribriform features Carcinoma/carcinoma NST with melanotic features Carcinoma/carcinoma NST with signet ring differentiation DCIS Duct/ductal carcinoma Duct/ductal carcinoma in situ Duct/ductal carcinoma NOS Duct/ductal carcinoma NST (no special type) Duct/ductal carcinoma with apocrine features Duct/ductal carcinoma with apocrine metaplasia Duct/ductal carcinoma with lobular features Duct/ductal carcinoma with micropapillary features Duct/ductal carcinoma with squamous metaplasia Infiltrating ductal carcinoma Invasive carcinoma with micropapillary features Invasive mammary carcinoma associated with encysted papillary carcinoma Invasive carcinoma not otherwise specified (ductal/NOS) Invasive carcinoma NST with metaplastic features Invasive carcinoma NST/duct with medullary features Invasive carcinoma, with signet-ring cell features Invasive carcinoma of no special type (NST) Invasive carcinoma with clear cell (glycogen rich) features Invasive carcinoma, NST Invasive carcinoma, type cannot be determined Invasive mammary carcinoma Invasive mammary carcinoma NST with lobular features Invasive mammary carcinoma NST with medullary features Invasive mammary carcinoma NST with mucinous features Invasive mammary carcinoma NST with tubulo-lobular variant Invasive mammary carcinoma with apocrine features Invasive mammary carcinoma with cribriform features Invasive mammary carcinoma with neuroendocrine features Invasive mammary carcinoma with tubular features Mammary carcinoma in situ Mammary carcinoma/cancer Non-invasive mammary carcinoma Comedocarcinoma Invasive ductal carcinoma, Tubule forming type ^{注)} Invasive ductal carcinoma, Solid type ^{注)} Invasive ductal carcinoma, Scirrhus type ^{注)} Invasive ductal carcinoma, Other type ^{注)} 注)として記載の上記組織型は本邦で独自に使用される組織型である。 多重がん判定を行うにあたり必要と考えられるため補足した。	Carcinoma with osteoclastic-like stromal giant cells Cribriform carcinoma Pleomorphic carcinoma
8315	Glycogen-rich clear cell carcinoma	Glycogen-rich carcinoma	Clear cell carcinoma
8530	Inflammatory carcinoma		
8314	Lipid-rich carcinoma	Lipid-secreting carcinoma	
8520	Lobular carcinoma	Alveolar lobular carcinoma Classic lobular carcinoma Invasive lobular carcinoma, alveolar type/variant Invasive lobular carcinoma, solid type Mixed lobular carcinoma (lobular carcinoma NOS and one or more variants of lobular carcinoma) Invasive pleomorphic lobular carcinoma Solid lobular carcinoma Tubulolobular carcinoma	Pleomorphic lobular carcinoma in situ
8510	Medullary carcinoma		Atypical medullary carcinoma
8575	Metaplastic carcinoma NOS or of no special type (NST)	Invasive mammary carcinoma with matrix production Metaplastic carcinoma, mixed epithelial and mesenchymal type Metaplastic carcinoma with mesenchymal differentiation Metaplastic carcinoma with squamous features Metaplastic carcinoma with other types of mesenchymal differentiation Mixed metaplastic carcinoma	Carcinosarcoma Fibromatosis-like metaplastic carcinoma Low grade adenosquamous carcinoma Metaplastic carcinoma spindle-cell type Metaplastic carcinoma with chondroid differentiation/with osseous differentiation Myoepithelial carcinoma Spindle cell carcinoma Squamous cell carcinoma

8480	Mucinous carcinoma	Colloid carcinoma Mucinous adenocarcinoma Muroid carcinoma	
8430	Mucoepidermoid carcinoma		
8982	Myoepithelial carcinoma		
8290	Oncocytic carcinoma		
8540	Paget disease of the nipple with no underlying tumor		
8503	Papillary carcinoma	Intraductal papillary carcinoma Intraductal papillary carcinoma with DCIS Invasive papillary carcinoma Papillary carcinoma non-invasive Papillary ductal carcinoma in situ	Encapsulated papillary carcinoma / Encapsulated papillary carcinoma with invasion Intraductal papilloma with lobular carcinoma in situ or with lobular neoplasia Micropapillary carcinoma Solid papillary carcinoma in situ / Solid papillary carcinoma with invasion
9020/3	Periductal stromal tumor, low grade	Phyllodes tumor, malignant	
8525	Polymorphous carcinoma		
8800/3	Sarcoma NOS ※注 Rhabdomyosarcoma 8900/3 は、下記の亜型/変異型に 対するNOSでもある: ・ Alveolar type rhabdomyosarcoma 8920/3 ・ Embryonal type rhabdomyosarcoma 8910/3 ・ Pleomorphic rhabdomyosarcoma 8901/3	Angiosarcoma / Hemangiosarcoma / Lymphangiosarcoma / Malignant hemangioendothelioma Liposarcoma Leiomyosarcoma Osteosarcoma Rhabdomyosarcoma / Alveolar type rhabdomyosarcoma / Embryonal type rhabdomyosarcoma / Pleomorphic rhabdomyosarcoma	
8410	Sebaceous carcinoma		
8502	Secretory carcinoma	Juvenile breast carcinoma	
8490	Signet ring carcinoma		
8041	Small cell carcinoma	Carcinoid tumor of breast Endocrine carcinoma Neuroendocrine carcinoma, poorly differentiated	Carcinoma with neuroendocrine differentiation Neuroendocrine tumor, welldifferentiated
8211	Tubular carcinoma		

※注 * のついたコードは院内がん登録においては未採用のため、「用語」を参照すること

※注 " / … (スラッシュ、組織型名) " と記載されている組織型は、多重がんルールにおいて、直前に記載されている組織型と同じ亜型/変異型として扱う。

ただし、これらの形態コードは同じことも異なることもあるので、注意すること。